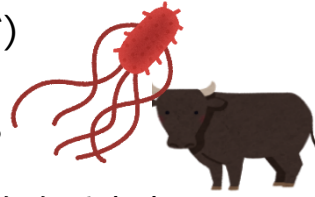


# 腸管出血性大腸菌感染症ってなあに？

## 病原体

毒素を産生する大腸菌(O157、O26、O111など)  
牛やヤギなどの動物の腸管内に生息しています。  
熱に弱く、**75℃で1分以上の加熱**で死滅します。



## 症状

下痢、腹痛、血便などが多く、全く症状がない場合もあります。  
重症化すると、溶血性尿毒症症候群(HUS)※や脳症を起こすこともあります。  
特に、子どもと高齢者は重症化しやすいので注意が必要です。

### ※溶血性尿毒症症候群(HUS)

様々な原因で起こる急性腎不全で、貧血、血小板減少、腎機能障害を起こします。初期症状では、顔色不良、乏尿、むくみ、意識障害などがあります。

## 潜伏期間

おおよそ3～8日

## 感染経路

菌に汚染された生肉や加熱不十分な肉、菌がついた飲食物を口にすることや患者の便で汚染されたものなどを介して感染します。動物との接触による感染例もあります。

## ～身近な人が感染したら～ 二次感染を予防しよう！

- トイレの後や食事の前には手洗いをしましょう。
- 感染者の便を処理する場合は、使い捨て手袋を使用しましょう。
- 感染者の便で汚れた衣類は消毒(塩素系漂白剤)してから洗濯しましょう。
- 感染者はできるだけ最後に入浴しましょう。浴槽にはつからず、シャワーで済ませましょう。
- トイレの取っ手やドアノブ、蛇口などを消毒しましょう。

## 日頃から感染しないよう 気をつけましょう！

### ① 石鹸で手洗いをしましょう

- ▶ 調理や食事の前
- ▶ トイレの後
- ▶ 外出から帰ってきたとき
- ▶ オムツなど便の処理の後
- ▶ 牛など動物とふれあった後



### ② 食品を適切に扱きましょう

- ▶ 肉類は中まで火を通す
- ▶ 肉を切った後の調理器具で野菜や果物を切らない
- ▶ 調理器具は洗浄または熱湯で消毒する
- ▶ 野菜や果物はよく洗う

